

大学入試

第3回

## 日本史最前線

講師：石川晶康（河合塾講師）

次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

藤原不比等の子がおこした南家・北家・①式家・京家のうち、北家の系統は平安時代に入るとしだいに勢力を伸ばした。北家興隆の基礎を築いたのは、嵯峨天皇の信任をうけ蔵人頭に任命され、その後左大臣にも昇り、また娘順子を東宮正良親王(のちの仁明天皇)と結婚させた藤原冬嗣であるとされる。

藤原良房は冬嗣の子であるが、良房も北家の勢力拡大のうえで大きな役割を果たした人物である。②842年に謀反の疑いをかけられた伴健岑が処罰されるという大きな事件がおきたが、これは良房の陰謀であったとささやかれている。さらに応天門の変でも伴氏の善男や [ 1 ] 氏の豊城らが処罰されるなど他氏の勢力が後退し、藤原氏の地位が高まった。清和天皇の外祖父であった良房はこの事件のときに勅により摂政に任ぜられ、事件を処断した。良房の養子である藤原基経は、宇多天皇の即位に際し基経にあてた勅書の [ 2 ] という表記を口実に宇多天皇と政治的駆け引きを演じ、宇多天皇に譲歩させるのに成功した。

しかし、宇多天皇は基経の死後親政を行ない、菅原道真を登用して藤原氏を牽制しようとした。道真は、紀伝道で教える [ 3 ] 博士に任命された経歴を有する人物で、③学者・文人として優れた業績を残したが、④遣唐使派遣中止の建議をしたことでも知られる。宇多天皇の次の⑤醍醐天皇の時代も天皇親政は続けられ、道真は右大臣に昇進したが、齊世親王を即位させようとしているという藤原氏の訴えにより大宰権帥に左遷された。醍醐天皇から1代おいた村上天皇も親政を行なったが、村上天皇の死後に

源高明が讒訴により失脚させられるという事件がおきた。この事件後はほぼ摂政か関白がおかれるようになった。摂政・関白は藤原氏の氏の長者を兼ね、その大学別曹である **4** を管理するほか、膨大な所領を継承し、一族の官位の推挙に関し大きな力を握っていた。

このような地位をめぐる藤原氏の内部においては熾烈な争いもみられた。歴史物語には藤原道長の父 **5** がその兄と争ったことが載せられており、また、道長も甥と関白の地位をめぐり争ったことで知られている。道長は娘をつぎつぎと⑥后や皇太子妃とし、その娘たちが生んだ子は3代続けて天皇の位についた。道長の子の藤原頼通も長年にわたって摂政・関白の地位にあり栄華を極めた。道長・頼通の時代、藤原氏の権勢は極めて強大であった。しかし、藤原氏を外祖父としない後三条天皇が即位し政治に積極的に取り組むようになると、藤原氏の勢いは道長・頼通の時代ほどではなくなってきた。

藤原氏が栄えた平安時代中期の貴族の生活をみると、男性の正装が束帯であったのに対し、女性の正装は俗に十二単とも呼ばれる **6** であった。成人の儀式は重要な通過儀礼で、男性のそれは **7** と呼ばれた。貴族社会では⑦崇りをおそれたり、物忌や方違など何かにつけ吉凶を考えて行動する風潮がみられた。こうした吉凶判断の主な根拠として用いられたのは **8** 説と呼ばれる古代中国に生まれた学説である。

**問1** 文中の空欄 **1** ～ **8** に入るもっとも適切な語・氏名などを漢字で答えなさい。

**問2** 下線部①の式家をおこした宇合の子で光仁天皇を擁立した人物を次の中から1人選び、その記号をマークしなさい。該当するものがなければ、該当なしのfをマークしなさい。

- (a) 藤原仲成            (b) 藤原百川            (c) 藤原種継
- (d) 藤原仲麻呂        (e) 藤原広嗣            (f) 該当なし

**問3** 下線部②の政治事件に関連する説明文として正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- (a) この事件がおきた842年は承和年間にあたる。
- (b) この事件の首謀者のひとりとして橘逸勢が流罪となった。
- (c) この事件により恒貞親王は皇太子の地位から追われた。

**問4** 下線部③に関連する説明文として正しいものにはイ，誤っているものにはロをマークしなさい。

- (a) 菅原道真は漢詩集である『凌雲集』を編んだ。
- (b) 菅原道真は歴史書である『類聚国史』を編纂した。
- (c) 菅原道真は政治の要諦を論じた『文鏡秘府論』を著した。

**問5** 下線部④に関連する説明文として正しいものにはイ，誤っているものにはロをマークしなさい。

- (a) 菅原道真はこのときの遣唐使に任命されていた。
- (b) 菅原道真は反対理由として 8 世紀の黄巢の乱に始まる唐の国力の衰えをあげている。
- (c) 9 世紀の航路は南路より航海の危険が高い北路がとられており，そのことが遣唐使派遣中止の一因となった。

**問6** 下線部⑤の醍醐天皇の時代の出来事にあたるものにはイ，そうでないものにはロをマークしなさい。

- (a) 三善清行が「意見封事十二箇条」を提出した。
- (b) 『古今和歌集』が編纂された。
- (c) 班田収授が 6 年 1 班から 12 年 1 班に改められた。

**問7** 下線部⑥に関連する説明文として正しいものにはイ，誤っているものにはロをマークしなさい。

- (a) 後一条天皇は道長の孫にあたる。
- (b) 紫式部も清少納言も后妃に仕える女官であった。
- (c) 藤原道長の日記『小右記』には，娘の立後の日に自己の栄華を望月のようにとする和歌が載せられている。

**問8** 下線部⑦に関連する説明文として正しいものにはイ，誤っているものにはロをマークしなさい。

- (a) 怨霊や疫神を祀り祟りをうけないようにするための祭礼が放生会である。
- (b) 節日になると貴族は物忌と称して家に閉じこもった。
- (c) 吉凶に応じて外出の時刻を変更することを方違といった。

## 第3回 解答

問1 1—紀 2—阿衡 3—文章 4—勸学院  
5—兼家 6—女房装束 7—元服 8—陰陽五行

問2 (b)

問3 (a) —イ (b) —イ (c) —イ

問4 (a) —口 (b) —イ (c) —口

問5 (a) —イ (b) —口 (c) —口

問6 (a) —イ (b) —イ (c) —口

問7 (a) —イ (b) —イ (c) —口

問8 (a) —口 (b) —口 (c) —口